

# 東京デザイン専門学校 学校関係者評価報告書

(令和4年度)

実施日 令和4年(2022年)11月25日・12月17日

※令和4年度学校自己評価(基準日:令和4年(2022年)9月30日)  
をもとに評価実施

学校法人原宿学園  
東京デザイン専門学校

## 令和4年度 学校関係者評価報告書について

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成15年度(2003年度)より学校自己評価を実施しています。また、平成21年度(2009年度)には、本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。平成25年度(2013年度)からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施しています。その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、在学生保護者・卒業生・デザイン関連業界団体の皆様やデザイン・教育等に見識をお持ちの方々に令和4年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年(2022年)12月  
学校法人原宿学園 東京デザイン専門学校  
学校長・学校評価委員会委員長 小林登志子

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関のご指導をふまえ、在学生保護者、卒業生、デザイン関連業界団体・企業、近隣団体等7名の方々に評価委員をお願いいたしました。（詳細は次頁をご覧ください）

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver. 4（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、令和4年(2022年)11月25日(金)および12月17日(土)にWEB会議システム（Zoom）を利用してご参集いただき、令和4年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和4年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また、平成28年3月に職業実践専門課程に設置全9学科が認定されたこともふまえ、学校評価事業は毎年度、継続していきます。

※本校は特定非営利団体私立専門学校等評価研究機構の会員です。

東京デザイン専門学校 学校評価委員会

## 学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

### 【在学生保護者】

ビジュアルデザイン科 2年生保護者

横井 浩司

ファッションアクセサリー科 2年生保護者

室町 和徳

クリエイティブアート科 3年生保護者

藏原 康之

### 【関連業界団体・企業】

公益社団法人日本広告制作協会 理事

梶原 鉄也

一般社団法人日本空間デザイン協会 会長

鈴木 恵千代

### 【卒業生】

本校グラフィックデザイン科卒業

東京デザイン専門学校校友会 会長

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会事務局長

アルファルファ アートディレクター

相澤 竹夫

### 【近隣団体】

商店街振興組合原宿表参道櫛会

株式会社 生活の木

重永 創

学校関係者評価者が所属する団体の詳細は公式サイトをご参照ください

公益社団法人日本広告制作協会 <http://www.oac.or.jp/>

一般社団法人日本空間デザイン協会 <http://www.dsa.or.jp/>

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会

<https://www.typography.or.jp/>

商店街振興組合原宿表参道櫛会 <http://omotesando.or.jp/jp>

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-1】理念・目的・育成人材像

## 基準2 学校運営

点検項目【2-2】運営方針

点検項目【2-3】事業計画

点検項目【2-4】運営組織

点検項目【2-5】人事・給与制度

点検項目【2-6】意思決定システム

点検項目【2-7】情報システム

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準3 教育活動

点検項目【3-8】目標の設定

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

- オンラインで距離感が出来たが、対面とオンラインとの使い分けが柔軟に出来る様になった。社内間およびクライアント共に、コミュニケーションの取り方を模索している。
- 空間デザイン業界の業績は回復している。これからも活発になる。空間が経済を廻す原動力。バーチャルが増えたが、新しい集客イベントには飲食、物販が伴うので、業界が衰退する事は無い。
- 流通業界ではリアル、オンラインのいずれか一方ではなく、ハイブリットで継続していく。実店舗では来店しないとできない体験、受けられないサービスを重要視している。
- デザインソフトの充実で、プロとアマとの差が無くなっているため、別のスキルを高めていかなければならない。現状維持では無く、特別な発想力が必要である。

点検項目【3-9】教育方法・評価等

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】【保護者】の方々からご意見をいただいています

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

- 自ら学ぶことが大切。モチベーションが大事。若い社員も学生と同じで、教わるのではなく学ぶ事や、もっと良くしたいという気持ちを持つことが大切。社員へ外部コンテストへの参加を促している。それにより色々な経験が得られる。
- 最終的になんのためにどういう仕事、働き方をしたいのかイメージして、就職してどの様に働くかを考えて、講座選択をしてもらいたい。
- 研修時から新人に先輩社員のメンターを付けて、自分自身で判断できる様に導いている。学校でも先輩に相談できる制度があれば良い。
- 一概にデザインといっても多様性が求められるので、新教育制度のエクステンションスタディが機能したら面白いと思う。

#### 評価者意見・質疑【保護者】

新教育制度は良い取組。選択肢が幅広くなる一方、深掘りがどこまでできるか。

専門学校は専門性が高いままでいて欲しい。

学校からの回答 > 5限目の授業選択は自由であるが、1限から4限までは専門性が高い授業を実施している。現在行っている授業の効果を反映して、次年度に繋げたい。

入学時から自分の目標にぶれずに学べた。専門に特化するだけでなく、色々な学びがあるのが良い。

作品展を見た。産学コラボは自信につながるので、さらに盛んにして欲しい。

学校からの回答 > 近隣のショップでのコラボなど積極的に行っている。

点検項目【3-10】成績評価・単位認定等
----------------------

点検項目【3-11】資格・免許の取得の指導体制
-------------------------

点検項目【3-12】教員・教員組織
-------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 基準4 学修成果

点検項目【4-13】就職率
---------------

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

広告業界希望者が少なくなったように感じる。グラフィックデザイナーも動画制作に携わるようになってきたが、グラフィックの技術は基礎として必要。また、動画制作

を一般企業が企業内で行うことや、フリーランスで行う傾向もある

新卒採用は昨年と今年とでは変化無くコンスタントに採用している。

オンライン採用ではなかなか判断が難しい学生もいた。オンラインでのプレゼンで能力を発揮する学生もいるが、リアルで無いと総合的に見極めるのは難しい。オンラインを学生もどんどんやってコミュニケーションを深めて欲しい。最初はリアルでの活動が必要だが、学生もオンラインは必須である。

学校からの回答 > コロナ禍当初のディスプレイ系の求人が全くなかった頃に比べると良くなった。学生がコロナ禍で就職活動に自信が無く、社会に出て行くことが出来なくなっている傾向もあったので個々で対応している。

点検項目【4-14】資格・免許の取得率
---------------------

点検項目【4-15】卒業生の社会的評価
---------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準5 学生支援

### 点検項目【5-16】就職等進路

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】【保護者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

- 採用に国籍関係ない。外国人は取らないという事は無い。壁は無い。
- 留学生採用も増えている。採用したい作品を作っている。日本のデザインを勉強してさらに海外テイストも入って居ると採用される。
- 小売業は人手不足。空間デザイン的なビジュアルプレゼンテーションが必要。デザイン感覚がある人材を求めている。店舗のデザインや商品発注を店長に任せている企業もある。

#### 評価者意見・質疑【保護者】

- 先生からアドバイスを受けて広く活動する事を考えていたが、紹介で希望する就職が出来た。感謝しているが、親との面談の機会も充実して欲しい。  
学校からの回答 >就職部ではいつでも窓口を開いているが、もっと気軽に相談出来る様、工夫が必要だと感じている。
- 夏には就職が決まっていると思っていたが、なかなか動かなかった。美術系は遅いという印象がある。
- 9月に先生との面談で本人の心が就職に行っていないと言われた。先生の方が本人の事を把握してくれていて、逆に安心した。最近エントリーし始めたようだ。  
学校からの回答 >夏休み明けからの内定が多い。現在半数が内定で、これからである。  
就職に関しての気持ちを作るのが大切だか、それを作るのに時間が掛かると感じている。
- 就職に必要な技術を伸ばすためのデジタルの授業が少ないと感じたと本人が言っている。  
学校からの回答 >デジタル授業を意識しカリキュラムの改善をしている。デジタルが苦手な学生が多いので、色々と工夫している。

### 点検項目【5-17】中途退学への対応

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 点検項目【5-18】学生相談

### 点検項目【5-19】学生生活

### 点検項目【5-20】保護者との連携

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑【保護者】

- コロナ禍での在宅は企業も学校も変わらないが、学生はリモートで時間の概念が緩くなる。今日は行かなくてもいいやとなる。少人数だけの関りとなり人間関係が希薄になり、雑談や相談ができなくなる。精神的につらくなる。  
学校からの回答 >学生はSNSで色々なつながりが増えているが、それが逆に億劫になると言う声もある。やはり対面が重要でオンラインで済ませられることも学生とは対面で話している。オンラインも使いながら出来るだけ学生一人一人と交流して行きたいと思っている。グループワークも通常通り対面で出来ている。

- 対面授業が再開していて、先生からの学生のケアも充実。ストレスは無い。
  - クリエーターが正直何をしているのかよく分からない。会社員に比べてストレスはどうなのか。デザイナーやPCエンジニアはほとんど在宅で作業しているが問題無いようだ。
- 学校からの回答 > デザイン系では在宅での作業を行っている企業も多い。業務的には問題ないようだが、新入社員の研修や育成においては苦勞していると聞いている。
- コロナ禍で他学科の学生との交流が減った事は仕方がなかったが、なにか工夫があれば良かったと思った。

#### 点検項目【5-21】卒業生・社会人

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準6 教育環境

#### 点検項目【6-22】施設・設備等

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 点検項目【6-23】学外実習・インターンシップ等

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

- インターンシップが出来る企業は積極的に進めて欲しい。クライアントと協力して学生が作品制作に参加している。ただし企業ロゴが入って居ないなど、基本のレギュレーションを守れていない事がある。
- 紙が減ってWEBに移行している。グラフィックデザイナーが動画を学んで映像部門と組んでいる。今の映像はデザイナーが作る映像が求められている。  
きちんとグラフィックを学んでいけば、幅が広がる、映像もWEBもできる
- 店舗の中に映像と音と香りによる空間体験型コンテンツを導入しており、そういった五感体験型のクリエイティブが消費者にも求められてる。コロナ禍で来店できない状況下では社内内製でも映像をつくっている。一方しっかりつくるものは外注してる。

#### 点検項目【6-24】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準7 学生の募集と受け入れ

#### 点検項目【7-25】学生募集活動

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑【保護者】

- オープンキャンパスをオンラインで行い、授業そのものを全て公開してはどうか。
- 学校からの回答 > オンラインでの情報公開がまだまだ不足していると認識している。限定公開のオンラインオープンキャンパスも実施しているが、いつでも見る事が出来る様に工夫したい。
- リモートのオープンキャンパスは非常に良いと思う。所属企業で、リモートのインターンを行い。非常に興味を持った人材が集まった。



学校からの回答 >メタバースの授業も取り入れているので、学生はリモートには抵抗無いと思う。

今後は学園生活のバーチャル体験もできれば良いと考えている。現在はライブ配信で教室見学を実施しているのでこれを広げたい。

点検項目【7-26】入学選考
----------------

点検項目【7-27】学納金
---------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準8 財務

点検項目【8-28】財務基盤
----------------

点検項目【8-29】予算・収支計画
-------------------

点検項目【8-30】監査
--------------

点検項目【8-31】財務情報の公開
-------------------

## 基準9 法令等の遵守

点検項目【9-32】関係法令、設置基準等の遵守
-------------------------

点検項目【9-33】個人情報保護
------------------

点検項目【9-34】学校評価
----------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【9-35】教育情報の公開
-------------------

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

### 評価者意見・質疑【保護者】

学園通信は見ている。メールは情報少ないが必ず目を通してしているので、内容を充実して欲しい。オンラインで授業参観を実施しても良いのでは。

SNSを活用して欲しい。

## 基準10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-36】社会貢献・地域貢献・国際交流
---------------------------

点検項目【10-37】ボランティア活動
---------------------

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】【近隣団体】

地域清掃活動、表参道イルミネーションなど各店舗で盛り上げる動きや、イベントごとに街を盛り上げる活動を地域で行っている。

学校からの回答 >学生も積極的に地域貢献活動に参加させたい。



T O K Y O  
D E S I G N  
A C A D E M Y

学校法人原宿学園

## 東京デザイン専門学校

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-62-8

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

総合企画部 TEL 03-3475-0171